

平成27年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市文化会館
所在地	四日市市安島二丁目5番3号
指定管理者	<p>名称 公益財団法人四日市市文化まちづくり財団</p> <p>代表者 理事長 小菅 弘正</p> <p>住所 四日市市本町9番8号</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運營業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>市民文化部 文化振興課</p> <p>TEL：059-354-8239</p> <p>E-mail：bunkashinkou@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

文化会館の管理運営状況については、「市民の文化、教育、福祉等の増進に資する」という目的に沿って、(1)文化活動のための施設の提供、(2)文化活動に関する情報の提供、(3)文化事業の企画及び実施などの事業が適切に行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されており、また、施設の維持管理についても、適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

平成27年度は、来館者数(452,112人)は指定管理者応募時の目標値(490,000人)を下回ったものの、昨年度実績(443,570人)を上回るとともに、各施設の平均日数利用率も85.2%と高水準を維持しています。利用者の満足度向上を目的として、利用者懇談会を年4回実施し、現状の問題点や改善点の聞き取りを行うとともに、駐車場の混雑状況をホームページでリアルタイムに表示するように改善が図られました。利用者ニーズに応え、午後11時までの夜間超過使用に対応するサービスも継続されています。

業務内容については、条例・規則を遵守し、協定書に定める業務が適正に実施されています。

自主事業については、四日市市文化振興条例および四日市市文化振興ビジョンを踏まえ、文化振興事業実施方針に基づき、事業が行われました。また、文化会館への来館が困難な人への芸術・文化に触れる機会の提供として、アウトリーチ事業が積極的に実施されました。また、市民との協働により、「第4回四日市JAZZ FESTIVAL」を開催し、プロ・アマ交えた113組の出演者が演奏を繰り広げ、まちを音楽で彩り、にぎわい創出に寄与することができました。夏休みには、開館30周年(平成24年度)から継続している「第4回こどもフェスティバル」が開催されたほか、新企画として若者世代を中心に人気が高まっているストリートダンスのコンテストが実施されました。また、平成28年度に開催予定の「第10回四日市市民オペラ」を見据え、ワークショップや講座を開催して歌手や音楽スタッフの更なるレベルアップと育成が図られました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

施設平均利用率は、日数利用率で85.2%、区分利用率で62.8%と高い水準で推移しています。今後も各事業の詳細な分析を行うなどして、現状の利用率を維持していく必要があります。

事業収支の赤字が平成26年度に引き続いて発生しています。公益財団法人としての役割はあるものの、赤字幅の縮小を図る必要があります。赤字の主な要因は、自主事業の増加に伴う支出の増と、入場料収入の減収です。事業内容の充実に努めている事は理解できますが、事業計画の立案に際し、過去の実績や他の会場での収支を詳細に分析するなど、より綿密な計画策定と、催事のPR活動を充実する必要があります。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

「市民の文化・教育・福祉等の増進に資する」という目的に沿って、文化活動のための施設の提供、文化活動に関する情報の提供、文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。来館者数は452,112人で目標値（490,000人）を下回ったものの、昨年度実績(443,570人)を上回るとともに、自主事業参加者入場率も、目標値の70%を達成し75.6%となりました。以上のことから施設の目的については達成され、施設の効用を発揮しているものと思われまます。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

四日市市文化振興条例および四日市市文化振興ビジョンを踏まえ、「市民の文化と教養の向上に貢献すること」を基本方針に掲げ、事業内容に工夫をこらし内容の充実に努めました。市民との協働により、中心市街地内の17か所を会場に、「第4回四日市JAZZ FESTIVAL」を開催し、プロ・アマ交えた113組の出演者が演奏を繰り広げ、まちを音楽で彩り、にぎわい創出に寄与することができました。夏休みには、開館30周年(平成24年度)から継続している「第4回こどもフェスティバル」を開催したほか、新企画として若者世代を中心に人気が高まっているストリートダンスのコンテストを実施しました。また、平成28年度に開催予定の「第10回四日市市民オペラ」を見据え、ワークショップや講座を開催して歌手や音楽スタッフの更なるレベルアップと育成を図りました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

利用料金等の収入、管理費等の支出について、適正に処理され領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事件・事故や災害等の各種対応マニュアルを作成し、防災訓練・救急救命講習も平成27年度中に2回実施されていました。個人情報保護についても、日々の朝礼などで全職員に徹底し、犯罪防止・秘密保持に努めていました。損害賠償責任保険の加入もしており、リスク管理も行われていました。

社会性（環境等への配慮）

オンデマンド監視装置による電気使用量の把握、清掃時の節水等の省エネ化、廃棄物の分別の対応について、それぞれ創意工夫をして実施されていました。
また、ホールの来館者のうち、車いすや高齢者の方々には、負担のないよう係員が誘導するなどソフト面での配慮がなされていました。

事業収支

経済性

支出に関しては、消耗什器備品費、修繕費、光熱水費、委託費などが当初計画を上回りましたが、支出全体としては適正に執行されていました。また、収入については、当初計画より16,541千円減少しました。収支としては、34,264千円の支出超過となっております。今後は事業の充実と併せて、収入増につながる事業の実施や、収入見込みを的確につかみながら管理運営を行うことなどが求められます。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された貸借対照表、損益計算書などを分析した結果、問題はないと判断しました。

その他

障害者雇用に対する取組み

平成26年6月の退職後は採用が無い事から、ハローワーク主催の講演への参加や、個別に相談に行くなど新規雇用に向けた取組みは行われていますが、今後も障害者雇用に対する取組みの推進を毎月開催する連絡調整会議などの場を利用しながら促していきます。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成27年度

施設名	四日市市文化会館		所管課： 文化振興課
所在地	四日市市安島二丁目5番3号		設置年月：昭和57年8月1日
設置目的	市民の文化、教育、福祉等の増進に資する		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市文化会館の設置及び管理に関する条例		
施設の概要	敷地面積 (㎡)	20,681㎡	
	延床面積 (㎡)	13,883㎡	
	設備の概要	第1ホール 収容人数 1,786人 第2ホール 収容人数 593人 第3ホール 収容人数 300人 第4ホール 収容人数 400人 展示室 第1展示室・第3展示室・第4展示室・常設展示室 会議室 第1会議室・第2会議室・第3会議室・和会議室 練習室 第1練習室・第2練習室・第3練習室 リハーサル室 第1リハーサル室・第2リハーサル室 駐車場 約400台	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動のための施設の提供に関する事 ・文化活動に関する情報の提供に関する事 ・文化事業の企画及び実施に関する事 ・その他会館の設置目的を達成するために必要な事業に関する事 		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	318日	318日	計画通り
開館時間	9時～22時	9時～22時	計画通り
受付時間	9時～19時	9時～19時	計画通り
自主事業開催	84件	106件	22件

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
自主事業参加者数（ホール催事）		20,676	17,461	△ 3,215
施設別 利用件数	第1ホール		164	
	第2ホール		195	
	第3ホール		331	
	第4ホール		408	
	第1会議室		210	
	第2会議室		504	
	第3会議室		471	
	和室		404	
	第1リハーサル室		502	
	第2リハーサル室		614	
	第1練習室		382	
	第2練習室		545	
	第3練習室		558	
	第1展示室		92	
	第3展示室		83	
	第4展示室		67	
	合計		—	
施設別 来館者数	第1ホール		184,695	
	第2ホール		65,927	
	第3ホール		34,137	
	第4ホール		23,742	
	第1会議室		3,215	
	第2会議室		9,533	
	第3会議室		8,067	
	和室		3,992	
	第1リハーサル室		13,233	
	第2リハーサル室		16,132	
	第1練習室		6,269	
	第2練習室		5,605	
	第3練習室		7,123	
	第1展示室		43,905	
	第3展示室		19,325	
	第4展示室		7,212	
	合計		490,000	

4. 事業収支

(単位:円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
事業収入	利用料収入	97,132,000	95,239,850	△ 1,892,150
	管理料収入	241,120,000	241,120,000	0
	入場料等収入	74,553,000	61,201,686	△ 13,351,314
	広告収入	7,380,000	7,072,376	△ 307,624
	刊行物販売収入	885,000	308,579	△ 576,421
	食堂使用料等収入	5,889,000	5,526,378	△ 362,622
友の会会費収入		1,300,000	1,132,000	△ 168,000
補助金収入		7,100,000	7,100,000	0
寄付金収入		0	0	0
雑収入	受取利息	0	0	0
	雑収入	50,000	167,130	117,130
預金収入等		0	0	0
収入合計		435,409,000	418,867,999	△ 16,541,001
人件費		98,486,000	102,346,087	3,860,087
管理費		200,978,000	207,790,930	6,812,930
交際費		10,000	1,994	△ 8,006
通信運搬費		840,000	818,056	△ 21,944
消耗什器備品費		946,000	1,674,313	728,313
消耗品費		4,262,000	4,451,051	189,051
修繕費		11,755,000	13,622,624	1,867,624
印刷製本費		722,000	1,045,656	323,656
燃料費		116,000	72,336	△ 43,664
光熱水費		47,341,000	48,372,903	1,031,903
賃借料		5,940,000	5,507,342	△ 432,658
保険料		816,000	813,530	△ 2,470
諸謝金		900,000	411,000	△ 489,000
手数料		223,000	510,453	287,453
委託料		126,559,000	129,603,873	3,044,873
広告宣伝費		0	0	0
その他		548,000	885,799	337,799
事業費(ソフト事業費)		117,191,000	117,757,729	566,729
一般管理費		18,754,000	25,237,194	6,483,194
支出合計		435,409,000	453,131,940	17,722,940
収支差額		0	△ 34,263,941	△ 34,263,941

平成27年度 四日市市文化会館 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	318日	318日	計画通り	練習室等で最長午後11時までの夜間延長を継続実施した。	適
開館時間	9時～22時	9時～22時	計画通り		適
事業開催	84件	106件	22件		計画に追加し適正に執行されました。

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
自主事業参加者数（ホール催事）	20,676	17,461	△ 3,215	《自主事業参加者入場率》 目標値 70% 実績値 75.6% 自主事業参加者入場率は、70%を目標としていますが、ホール事業26事業に対し、75.6%の入場率となり目標値の入場率を上回りました。 個々の事業では、一部入場率の低いものもありましたが、地方で鑑賞しにくい公演や民間では採算のとりにくい質の高い事業を実施するなど、公益財団法人としての使命を果たしています。満足度についても10点満点の9点であり、入場者から一定の評価があります。	適
施設別利用件数					
施設別来館者数					適
第1ホール		164			
第2ホール		195			
第3ホール		331			
第4ホール		408			
第1会議室		210			
第2会議室		504			
第3会議室		471			
和室		404			
第1リハーサル室		502			
第2リハーサル室		614			
第1練習室		382			
第2練習室		545			
第3練習室		558			
第1展示室		92			
第3展示室		83			
第4展示室		67			
合計	—	5,530	—		
第1ホール		184,695			
第2ホール		65,927			
第3ホール		34,137			
第4ホール		23,742			
第1会議室		3,215			
第2会議室		9,533			
第3会議室		8,067			
和室		3,992			
第1リハーサル室		13,233			
第2リハーサル室		16,132			
第1練習室		6,269			
第2練習室		5,605			
第3練習室		7,123			
第1展示室		43,905			
第3展示室		19,325			
第4展示室		7,212			
合計	490,000	452,112	△ 37,888		

3. 事業収支

(単位：円)

項目		実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
事業収入	利用料収入	97,132,000	95,239,850	△ 1,892,150	《利用料収入》 施設平均利用率が目標を下回った結果、利用料収入は計画額を下回りましたが、前年度(91,505,910円)よりは増収となっています。 《入場料等収入》 一部コンサートの入場料収入が計画より少なかった事により、収入全体が計画を大きく下回りました。 《広告収入》 カルチャーサポートなど企業協賛が、当初の見込みを下回ったため収入の減少につながりました。	適
	管理料収入	241,120,000	241,120,000	0		
	入場料等収入	74,553,000	61,201,686	△ 13,351,314		
	広告収入	7,380,000	7,072,376	△ 307,624		
	刊行物販売収入	885,000	308,579	△ 576,421		
	食堂使用料等収入	5,889,000	5,526,378	△ 362,622		
友の会会費収入		1,300,000	1,132,000	△ 168,000	《勤務体制》 正職員 8名 市派遣職員 1名 嘱託職員 1名 臨時職員 8名 ・人件費 賞与引当金を計画では計上していなかった事により増額になりました。 ・消耗什器備品費 電話機の購入やホール座席表示スタンド、座席案内表示案内板、プロジェクター、インカムヘッドセット等の購入により増額になりました。 ・修繕費 展示棟ワイヤレス設備修繕、ピンスポット整流器清音化修繕、電光掲示板修繕、エレベータバッテリー交換、ピンスポットファン交換、冷蔵庫ユニット交換、トイレタイル補修、音響調整卓調整、トイレ洗面所自動水栓化、ガス機器住設工事、ホール客席時計修繕、公衆無線LAN設置など 計58件。 ・光熱水費 当初計画を上回りましたが、前年度実績(49,126,603円)は下回りました。 ・委託料 鑑賞型事業の増加により増額になりました。 ・その他は、会議費、旅費交通費、負担金等 ・一般管理費は、租税公課、財団本部管理費、退職給与引当預金	適
補助金収入		7,100,000	7,100,000	0		
寄付金収入		0	0	0		
雑収入	受取利息	0	0	0		
	雑収入	50,000	167,130	117,130		
預金収入等		0	0	0		
収入合計		435,409,000	418,867,999	△ 16,541,001		
人件費		98,486,000	102,346,087	3,860,087		
管理費		200,978,000	207,790,930	6,812,930		
交際費		10,000	1,994	△ 8,006		
通信運搬費		840,000	818,056	△ 21,944		
消耗什器備品費		946,000	1,674,313	728,313		
消耗品費		4,262,000	4,451,051	189,051		
修繕費		11,755,000	13,622,624	1,867,624		
印刷製本費		722,000	1,045,656	323,656		
燃料費		116,000	72,336	△ 43,664		
光熱水費		47,341,000	48,372,903	1,031,903		
賃借料		5,940,000	5,507,342	△ 432,658		
保険料		816,000	813,530	△ 2,470		
諸謝金		900,000	411,000	△ 489,000		
手数料		223,000	510,453	287,453		
委託料		126,559,000	129,603,873	3,044,873		
広告宣伝費		0	0	0		
その他		548,000	885,799	337,799		
事業費(ソフト事業費)		117,191,000	117,757,729	566,729		
一般管理費		18,754,000	25,237,194	6,483,194		
支出合計		435,409,000	453,131,940	17,722,940		
収支差額		0	△ 34,263,941	△ 34,263,941		

総合コメント

収入については、一部の自主事業の入場者数が目標を下回った影響から、入場料収入が計画より大幅な減収となりました。その結果、収入全体で計画に対し16,541千円の減収となりました。
支出については、賞与引当金の計上に伴う人件費の増額及び事業数の増加に伴う委託料の増加や前年度の消費税の支払いがあった事から、計画より大幅に増額となりました。その結果、支出全体で17,723千円の増額となりました。
経理関係調書や領収書等の証拠書類については、適正に整理されていました。

平成27年度 四日市市文化会館 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>自主事業における参加者入場率は、ホール事業26事業において75.6%となり、目標値70%を超える入場率となりました。また、新規事業に積極的に取り組み、若者世代を中心に人気が高まっているストリートダンスの「アマチュア・ストリートダンスコンテスト」を開催しました。まちの賑わいを創出するまちづくり連動事業として、昨年度に引き続き「四日市JAZZ FESTIVAL」や「まちかどコンサート」を開催して、中心市街地の活性化に寄与しました。</p> <p>今年は、改修工事による一部休館期間があった影響もあり、施設別来館者数(452,112人)は、目標値(490,000人)を下回ったものの、昨年度実績(443,570人)を上回るとともに、施設平均利用率(62.8%)も昨年度実績と同率を維持しました。</p>	適
事業収支	収入	<p>施設平均利用率(62.8%)が目標(70%)を下回った結果、利用料収入は計画額を下回りましたが、前年度よりは増収となっています。</p> <p>一部コンサートの入場料収入が計画より少なかった事により、収入全体は計画を大きく下回りました。</p> <p>カルチャーサポートなど企業協賛が、当初の見込みを下回ったため広告収入が減少しました。</p>	適
	支出	<p>予算では計上していなかった賞与引当金により、人件費が増加しました。</p> <p>管理費のうち修繕費は、当初計画に無かったホール客席時計の修繕により増加しました。</p> <p>消耗什器備品費の増額は、電話機の購入やホール座席表示スタンド、座席案内表示案内板、プロジェクター、インカムヘッドセット等の購入によるものです。</p> <p>委託料の増加は、自主事業の増加によるものです。</p> <p>一般管理費の増額は、前年度分の消費税の支払いによる租税公課の増額によるものです。</p>	適

平成27年度 四日市市文化会館 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総 則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	消防法、建築基準法に定められた通り行われている	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月の連絡調整会議及び随時	十分に情報共有が行われている	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面確認	仕様書通りに行われている	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	実地・書面確認	直ちに報告がなされた	適
		事故等の報告書が提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		施設使用許可	施設の使用許可が適切に行われているか	書面確認	条例通り行われている
	利用料金の徴収	利用料金が適切に徴収されているか	書面確認	条例通り行われている	適
	備品の管理	備品等の管理が適切に行われているか	書面確認	改善を行い仕様書通りに行われた	適
	目的外使用	目的外使用許可の申請を行ったか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に行われているか	実地・書面確認	仕様書通りに行われている	適
警備保安業務	警備等	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
電気機械設備運転保守管理業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
冷暖房空調給排水設備等運転保守管理業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
環境測定業務	測定	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
植栽管理業務	樹木管理	剪定・消毒時期等は適切か	実地・書面確認	仕様書通りに行われている	適
展示棟管理業務	管理	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
舞台管理操作等業務	管理等	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
舞台設備機構保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
舞台照明設備保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
舞台音響設備保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
消防用設備保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	消防法に定められた通りに行われている	適
市有建築物定期点検	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	建築基準法に定められた通りに行われている	適
吸気冷温水機保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
エレベータ保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	建築基準法および仕様書通りに行われている	適
自動制御機器保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
樹木管理業務	樹木管理	剪定期等は適切か	実地・書面確認	仕様書通りに行われている	適
非常用発電設備保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
自動ドア保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
パッケージ型空調機保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
構内交換電話設備保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
展示パネル保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
ピアノ保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
映写機等保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
自家用電気工作物保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
高窓開閉装置保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
ポンプ保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
ボイラー排ガス測定業務	検査	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
直流電源保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
臨時駐車場除草業務	除草	除草は確実に行われているか	実地・書面確認	仕様書通りに行われている	適
文化会館情報提供業務	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	HP確認	仕様書通りに行われている	適

総合コメント

法令等の遵守及び指定管理者協定書等に基づく業務計画等の実施について適正に履行されています。各種計画書、報告書等も期限までに提出されており、職員の配置、設備機器等の保守・管理、保険の加入等について概ね適正に履行されていました。また、備品の管理について、備品台帳との照合、備品ラベルの整備、廃棄備品の整理などを行い、改善が行われました。

平成27年度 四日市市文化会館 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
文化を担う人材の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ■学び舎音楽会 15回 ■第4回こどもフェスティバル ■市民参加型事業 4事業 ■第31回四日市文芸賞 ■よっかいちアーティストバンク ■ボランティアの募集 	<ul style="list-style-type: none"> ■学び舎音楽会 16回 (小：14校 7,442名、中：2校 620名) ■第4回こどもフェスティバル (8月10日開催 来場者：6,000名) ■市民参加型事業 4事業 ①ヤングアメリカンズ ②アマチュア・ストリートダンスコンテスト (参加チーム49組 入場者605名) ③第2回おやじバンド合戦四日市の陣II (参加者41組 入場者685名) ④ニューイヤーコンサート2016 ■第31回四日市文芸賞 小説、評論、ドラマ、児童文学、エッセイ、ジュニアの部 (小説・詩) 応募作品 128点 ■よっかいちアーティストバンク 目的：市民文化活動の支援及び文化振興に寄与すること 登録団体：35団体 	<p>学び舎音楽会は、計画より多く実施され、延べ8,062名の子どもたちに生の音楽を届けることができ、豊かな感性を磨く機会となったことと思われます。小学校へはアーティストバンクに登録した地元の演奏家による音楽鑑賞会となりました。</p> <p>こどもフェスティバルは、文化会館全館を使用し、劇場体験ツアー、音楽ワークショップ、読み聞かせ、吹奏楽演奏会、積み木コーナーなど多彩な催しが実施され、予想を上回る入場者は6,000人となりました。</p> <p>市民参加型事業のアマチュア・ストリートダンスコンテストは、新企画として若者世代を中心に人気が高まっているストリートダンスのコンテストを開催しました。</p> <p>第31回目となった四日市文芸賞は、各部門を県内から公募して優秀作品を表彰し、入賞作品の作品集を発行しました。</p> <p>よっかいちアーティストバンクは、登録団体を公募し、選考された団体が、学び舎音楽会、まちかどコンサート、移動文化会館アウトリーチ事業等、各種文化事業に出演しました。</p> <p>実施計画にあったボランティアの募集については、調整に時間を要し、今年度の募集は行われませんでした。</p>	適
優れた芸術文化を鑑賞する機会の確保	<p>日本の伝統芸能やクラシックコンサート、演劇などの公演</p> <p>(1) ホール事業 18事業</p> <p>(2) こどもの文化鑑賞機会の充実事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■青少年のための芸術鑑賞機会充実 ■三泗小学校音楽会支援事業 <p>(3) アウトリーチ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■移動文化会館 ■音楽の贈り物 	<ol style="list-style-type: none"> ①Ms. 00JA TADAIMA LIVE vol.3 ②藤原道山×SINSKE「星月夜」 ③ファイナルファンタジー・プラス ④宝塚歌劇星組公演 ⑤0歳児から入れる親と子のコンサート 大阪交響楽団演奏会 ⑥林家菊丸襲名披露公演 ⑦立川志の輔独演会 ⑧ルバンティック・ファイブ ⑨谷村新司トーク&キャラバン ⑩名古屋フィルハーモニー交響楽団演奏会 ⑪Yonbun Drama Collection 流山児★事務所「西遊記」 ⑫クラシックシリーズ アンサンブル・ウィーン演奏会 ⑬第27回 四日市能公演 ⑭Yonbun Drama Collection 糸あやつり人形一糸座「泣いた赤鬼」 ⑮山崎まさよし20th Anniversary Tour ⑯劇団四季「コーラスライン」 ⑰ファミリー狂言会 ⑱Yonbun Drama Collection 少年王者館「思い出し未来」 ⑲オペラティックコンサート ⑳絵本deクラシック 	<p>計画より多く実施されていました。伝統芸能やクラシック、演劇など多様な市民ニーズに対応する内容であったと思います。</p> <p>特に演劇は、四日市にもっと「演劇」という市民の方の希望に応えるため、「Yonbun Drama Collection」を設立しました。演劇をより身近に感じてもらうため、ワークショップやセミナー、公演を実施しました。公演では、大ホールの舞台上を小ホールに見立て、客席一体となった演出を実施するなど工夫が見られました。</p>	適
四日市の個性を生かした事業	<ul style="list-style-type: none"> ■萬古焼展示 3回 ■企画展示 1回 ■萬古作家のお茶碗でお茶を楽しむ 2回 ■四日市市出身者顕彰事業・第12回文治まつり 	<ul style="list-style-type: none"> ■萬古焼展示 3回 ■企画展示 1回 ■萬古作家のお茶碗でお茶を楽しむ 2回 (8月・2月) ■四日市市出身者顕彰事業・第12回文治まつり 	<p>萬古焼が四日市の地場産業として受け継がれてきた功績と価値を広く理解してもらうため、時代別の3期に分けて展示をし、入場者は延べ5,138名になりました。</p> <p>企画展示は、四日市市出身の若手イラストレーター「ヒロミチイト」「後藤美月」の作品を紹介しました。</p> <p>また、萬古作家のお茶碗でお茶を飲む機会を提供し、入場者は延べ1,580名になりました。</p> <p>文治まつりは、落語を寄席という形式で演じた最初の人である初代桂文治の墓が四日市にある由縁から、その功績を顕彰した事業を実施しました。</p>	適

<p>文化を創造する環境づくりのための事業</p>	<p>(1)まちの賑わいを創出するまちづくり運動事業 ■四日市JAZZ FESTIVAL ■まちかどコンサート 2回 ■ワークショップ発表公演「オペラハイライト」 (2)他文化施設団体との連携事業 ■ワンコインコンサート 4回 ■よんぶんセミナー 8回</p>	<p>(1)まちの賑わいを創出するまちづくり運動事業 ■四日市JAZZ FESTIVAL ■まちかどコンサート 2回 ■ワークショップ発表公演「オペラティックコンサート」 (2)他文化施設団体との連携事業 ■ワンコインコンサート 4回 ■よんぶんセミナー 14回</p>	<p>四日市JAZZフェスティバル（延入場者数23,000名）は昨年の入場者数（20,000名）を上回りました。市内中心市街地17カ所を会場として、113組の出演者に加えて地元の吹奏楽団や全国ファミリー音楽コンクールグランプリ受賞ファミリー等による演奏もされました。 まちかどコンサートは、地元アーティストだけでなく県外も含めて25組の応募があり、様々なジャンルのコンサートが開催されました。 オペラティックコンサートは、平成28年度に開催予定の「第10回四日市市民オペラ」公演を見据え、歌い手や音楽スタッフ等のレベルアップと育成を目的にワークショップが開催され、その成果発表の場としてコンサートが開催されました。 ワンコインコンサートは、ランチタイムに500円で1時間楽しめるカジュアルなコンサートを4回開催し、その内の和楽器コンサートが過去最高の1,579名の入場者を記録しました。</p>	<p>適</p>
<p>情報の受発信機能の強化</p>	<p>■文化展望 四日市「ラ・ソージュ」 年2回発行 ■催物ごあんない発行 毎月 ■財団ミニギャラリー ■ホームページの拡充</p>	<p>■文化展望 四日市「ラ・ソージュ」 第35号・第36号発行 ■催物ごあんない発行 毎月 ■財団ミニギャラリー ■ホームページの拡充 ■地元メディアによる発信</p>	<p>「ラ・ソージュ」は、年2回、1部500円で各号1,000部発行されています。 催物ごあんないは、毎月15日に17,000部発行されました。 財団ミニギャラリーは、個展等の展示会を開催する人への指導・助言等が実施されました。 ホームページ上で駐車場の混雑状況が分かるようにリニューアルされました。 地元メディアによる発信では、毎週火曜日30分間、FMよっかいち番組を持ち、職員が出演して文化情報の発信をしました。</p>	<p>適</p>

総合コメント

四日市市文化振興条例および四日市市文化振興ビジョンを踏まえ、「市民の文化と教養の向上に貢献すること」を総合的な基本方針に掲げ、文化を担う人材の育成・支援を始めとした事業の充実に努めていました。

- ・文化を担う人材の育成・支援
 - 学校教育の場で、小学生を中心とした子どもたちが芸術文化に親しめる機会を提供しました。演奏家は、平成26年度より取り組んでいる「アーティストバンク」を活用して地元の演奏家にしてもらうなど工夫が見られました。市民参加型事業として、ストリートダンスのコンテストを開催する等、若者世代を対象にした新たな取り組みもされました。
 - 優れた芸術文化を鑑賞する機会の確保
 - 伝統芸能やクラシック、演劇など質が高く、幅広い分野の催事が実施されました。特に演劇に関しては、ワークショップやセミナー、公演を実施し、演劇をより身近に感じてもらうための工夫がされました。
- ・四日市の個性を生かした事業
 - 四日市の特性を生かした事業として開館以来継続している萬古焼の展示や、四日市市出身の若手イラストレーターを活用した企画展示等の工夫が見られました。
- ・文化を創造する環境づくりのための事業
 - まちの賑わいを創出する事業として「四日市JAZZ FESTIVAL」「まちかどコンサート」の開催や、文化・芸術事業への理解を深めるセミナーとして「よんぶんセミナー」が実施されました。
- ・情報の受発信機能の強化
 - 自治会の組回覧や地元メディアであるFMよっかいちを活用した発信等、幅広く実施されました。

平成27年度 四日市市文化会館 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月の連絡調整会議及び随時	十分に情報共有が行われている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書面確認	点検票・受付票等	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
	修理	修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	適切に行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切に行われている（年間6件）	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切に行われている（年間24件）	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	—	修繕の実績なし	—

総合コメント

施設・設備等の点検・保守については、仕様書のとおり実施されています。点検や検査の実施状況について、異常については発見次第報告を受けて協議を行い、必要な修繕等を実施するなど、適切な対応が行われています。

平成27年度 四日市市文化会館 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、利用料金の徴収	対応は迅速であったか		アンケート結果「4.0」	適
		説明の仕方・対応内容はよかったか		アンケート結果「4.0」	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か		「催物ごあんない」発行	適
		案内表示はわかりやすいか		アンケート結果「3.9」	適
		ホームページは見易いか		見易い（ホームページ確認）	適
	受付・対応業務	担当者の接客態度は良かったか		アンケート結果「4.1」	適
		説明の仕方・対応内容はよかったか		アンケート結果「4.0」	適
		業務従業者は名札を着用しているか		着用している	適
	運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか		アンケート結果などから満足と感じられる	適
	維持管理業務	施設・設備の保守管理業務		施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施
設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか			現地確認実施	適	
照明や空調は適切であったか			アンケート結果「3.9」	適	
バリアフリー対応となっていたか			アンケート結果「3.5」	適	
舞台(展示) スタッフの対応は良かったか			アンケート結果「4.5」	適	
舞台設備は適切であったか			アンケート結果「4.1」	適	
照明設備は適切であったか			アンケート結果「4.1」	適	
音響設備は適切であったか			アンケート結果「4.0」	適	
楽屋は適切であったか			アンケート結果「3.8」	適	
客席は適切であったか			アンケート結果「4.1」	適	
ロビーは適切であったか			アンケート結果「4.0」	適	
駐車場は適切であったか			アンケート結果「3.5」	適	
レストランは適切であったか		アンケート結果「3.9」	適		
清掃業務		整理整頓され、清掃は行き届いているか	アンケート結果「3.8」・現地確認実施	適	
		トイレトペーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	現地確認実施	適	
		清掃スタッフの対応は良かったか	アンケート結果「4.2」	適	
警備業務		避難経路には障害物がないか	現地確認実施	適	
		警備や安全管理は適切か	アンケート結果「4.0」	適	
		警備スタッフの対応は良かったか	アンケート結果「4.1」	適	
外構・植栽管理業務		機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	現地確認実施	適	
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適	
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	現地確認実施	適	
		草刈りや除草はされているか	現地確認実施	適	
環境衛生管理業務		快適に利用できる環境となっていたか	現地確認実施	適	
廃棄物処理業務		廃棄物は適切に分別が行われていたか	現地確認実施	適	
備品管理業務		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適	

総合コメント

アンケート満足度の平均は、4.1点（5点満点）で目標値の4.3点を下回りましたが、接遇研修の成果もあって、スタッフの対応については目標値に近い数字になっており、サービスの質は適正であると判断します。維持管理業務については、現地確認を行い、仕様書に基づき適正に実施されていると判断しました。

平成27年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市茶室「泗翠庵」
所在地	四日市市鵜の森一丁目13番17号
指定管理者	<p>名称 公益財団法人四日市市文化まちづくり財団</p> <p>代表者 理事長 小菅 弘正</p> <p>住所 四日市市本町9番8号</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運營業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>市民文化部 文化振興課</p> <p>TEL：059-354-8239</p> <p>E-mail：bunkashinkou@city.yokkaichi.mie.jp</p>

■ モニタリングの総合コメント

茶室「泗翠庵」の管理運営状況については、「市民が茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供し、伝統文化の振興を図り、市民の文化と教養の向上に資する」という施設の目的を概ね達成し、市民サービスの向上に努め、また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

平成27年度の来館者数は14,117人、広間及び次の間の利用率は40.3%で、前年度の実績である13,377人、36.8%と比較すると、来館者数、利用率ともに伸びています。その理由は、貸館の利用者が増加したためであり、その結果、利用料収入も増収となりました。一方、立札席利用者は前年度より減少したものの、呈茶料収入は計画を上回りました。

平成27年度は開館20周年の翌年度ではありましたが、文化の日茶会や無料呈茶等を実施し、来館者数は昨年度を上回りました。

管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行していました。

業務内容については、四日市市茶室条例・同施行規則を遵守し、協定書に定める業務を適正に実施していました。

自主事業については、四日市茶道教授連盟等と連携して、誰もが気軽にお茶を楽しめる事業を行い、日本の伝統文化である「茶道」の振興や普及、利用促進に努めています。参加者数は、昨年度より微減ではありましたが、高い水準で推移しています。

気軽にお茶をいただける立札席の利用者数は昨年度より微減ではあるものの、年間8,000人を超える利用があることから、市民にとって茶室が馴染みのある施設になりつつあることがうかがえます。今後も茶室の良さを発信し、魅力ある事業を実施することでリピーターを増やす努力を継続していく必要があります。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

平成27年度は、自主事業の参加者数は微減ではありましたが、来館者数は前年度実績より増加しています。今後も、より多くの市民に伝統文化に親しむことができ、誰もが気軽にお茶を楽しめる場である事を知って訪れていただけるようPR活動に重点をおく必要があります。

茶道体験教室・特別講座については、様々な分野とのコラボレーションが見られます。今後も利用者目線に立った事業の実施を求めます。

また、築後21年となる木造建造物であるため、施設の維持管理についても計画的に進め、機能が十分に発揮され市民が快適に利用できるよう、修繕計画の策定を進めていきます。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

市民が、茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供し、伝統文化の振興を図り市民の文化と教養の向上に資するという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われています。来館者数は、14,117人となり昨年度の実績（13,377人）を上回りました。広間及び次の間利用率も40.3%となり昨年度の実績値（36.8%）を上回りました。施設運営や利用者への対応についても、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行されていました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

自主事業の茶道体験教室や特別講座、文化の日茶会、無料呈茶会のほか、文化会館とも連携を図り、地元萬古作家の作品展示とその茶碗で抹茶をいただく立礼席や泗翠庵での特別講座の開催など、伝統文化に触れ、誰もが気軽にお茶を楽しめる事業が実施されていました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し、適切に運営されていました。施設の維持管理についても計画通り実施されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

利用料金等の収入、管理費等の支出について、適正に処理され領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事件・事故や災害等の各種対応マニュアルが適切に作成されていました。個人情報保護についても、日々の朝礼などで全職員に徹底し、犯罪防止・秘密保持に努めていました。損害賠償責任保険の加入もしており、リスク管理も行われていました。

社会性（環境等への配慮）

節水に努めながらの清掃、不要箇所の照明の消灯、廃棄物の分別の対応、それぞれについて創意工夫をして実施されていました。

事業収支

経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行されました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された貸借対照表、損益計算書などを分析した結果、問題はないと判断しました。

その他

障害者雇用に対する取り組み

平成26年6月の退職後は採用が無い事から、ハローワーク主催の講演への参加や、個別に相談に行くなど新規雇用に向けた取り組みは行われていますが、今後も障害者雇用に対する取り組みの推進を毎月開催する連絡調整会議などの場を利用しながら促していきます。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成27年度

施設名	四日市市茶室「泗翠庵」		所管課： 文化振興課
所在地	四日市市鶴の森一丁目13番17号		設置年月： 平成6年7月6日
設置目的	市民が茶道等日本古来の伝統文化に親しむことができる場を提供し、もってそれら伝統文化の振興を図り市民の文化と教養の向上に資する		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市茶室条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	1, 407㎡
		延床面積 (㎡)	267.8㎡
	小間棟 広間	四畳半下座床、点前座台目構え、台目切炉 主室9畳、次の間6畳	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道等の伝統文化に親しむことができる場の提供に関する事業 ・茶道等の伝統文化の普及及び啓発に関する事業 ・その他茶室の設置目的を達成するために必要な事業 		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	308日	307日	△1
開館時間	9時～20時30分	9時～20時30分	計画通り
受付時間	9時～16時30分	9時～16時30分	計画通り
自主事業開催	17回	17回	計画通り

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比	
自主事業参加者数	—	697	—	
施設別利用件数	—	広間及び次の間	200	
		うち小間	(61)	
		計	200	
利用団体数	90	125	35	
施設別来館者数	—	広間及び次の間	5,343	
		うち小間	(1,676)	
		計	5,343	
		立礼席	8,175	
		見学者	599	
		合計	13,000	14,117
稼働率	広間及び次の間	—	40.3%	—
	うち小間	—	13.6%	—

4. 事業収支

(単位:円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
事業収入	利用料金	989,000	1,149,930	160,930
	茶室収入	2,684,000	3,145,520	461,520
	指定管理料	10,726,000	10,726,000	0
	雑収入	0	6,170	6,170
収入合計		14,399,000	15,027,620	628,620
人件費		5,403,000	4,439,078	△ 963,922
管理費		10,301,000	10,441,420	140,420
交際費		0	0	0
通信運搬費		110,000	128,531	18,531
消耗什器備品費		400,000	228,200	△ 171,800
消耗品費		2,051,000	2,157,642	106,642
修繕費		700,000	1,020,600	320,600
印刷製本費		876,000	883,394	7,394
光熱水費		1,292,000	1,354,997	62,997
賃借料		1,099,000	1,098,480	△ 520
保険料		29,000	28,340	△ 660
手数料		21,000	4,900	△ 16,100
諸謝金		0	0	0
委託料		3,598,000	3,485,636	△ 112,364
広告宣伝費		80,000	43,200	△ 36,800
その他		45,000	7,500	△ 37,500
一般管理費		236,000	990,925	754,925
支出合計		15,940,000	15,871,423	△ 68,577
収 支		△ 1,541,000	△ 843,803	697,197

平成27年度 茶室 泗翠庵 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	308日	307日	△1	台風の影響による臨時休館を除き、計画どおり適正に執行されました	適
開館時間	9時～20時30分	9時～20時30分	計画通り		
受付時間	9時～16時30分	9時～16時30分	計画通り		
事業開催	17回	17回	計画通り		

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
自主事業参加者数	—	697	—	利用団体数は125団体であり、計画値の90団体及び昨年度（103団体）を大きく上回りました。来館者数も、14,117人で計画値13,000人を上回りました。また、広間及び次の間稼働率40.3%についても昨年度（36.8%）を上回っています。自主事業参加者数697人は昨年度（711人）より少し減少しました。	適
施設別利用件数	広間及び次の間	200	小間の利用件数は広間の内数		
	うち小間	61			
	計	200			
利用団体数	90	125	35		
施設別来館者数	広間及び次の間	5,343	小間の来館者数は広間の内数		
	うち小間	1,676			
	計	5,343			
	立礼席	8,175			
	見学者	599			
合計	13,000	14,117	1,117		
稼働率	広間及び次の間	—	40.3%	—	
	小間	—	13.6%	—	

3. 事業収支

(単位：円)

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
事業収入	利用料金収入	989,000	1,149,930	160,930	《勤務体制》 臨時職員 4名 来館者数は14,117人で、計画値13,000人を上回りました。このうち、立礼席利用者は8,175人で平成26年度の8,434人と同様に多く、呈茶料収入も3,145,520円と実施計画2,684,000円を上回りました。貸館利用者も5,343人となり、平成26年度の4,172人を大きく上回りました。その結果、利用料金収入も平成26年度の945,340円から1,149,930円となり増収となりました。 支出については、消耗什器備品費において当初計画見込みを下回った事により差額が生じています。修繕料は、広間天井雨漏り修繕及び洗面所手洗い水洗取替工事により増額となっています。 他の費目については、おおむね計画通りの執行となりました。	適
	呈茶料収入	2,684,000	3,145,520	461,520		
	指定管理料	10,726,000	10,726,000	0		
	雑収入	0	6,170	6,170		
収入合計	14,399,000	15,027,620	628,620			
人件費	5,403,000	4,439,078	△ 963,922			
管理費	10,301,000	10,441,420	140,420			
交際費	0	0	0			
通信運搬費	110,000	128,531	18,531			
消耗什器備品費	400,000	228,200	△ 171,800			
消耗品費	2,051,000	2,157,642	106,642			
修繕費	700,000	1,020,600	320,600			
印刷製本費	876,000	883,394	7,394			
光熱水費	1,292,000	1,354,997	62,997			
賃借料	1,099,000	1,098,480	△ 520			
保険料	29,000	28,340	△ 660			
手数料	21,000	4,900	△ 16,100			
諸謝金	0	0	0			
委託料	3,598,000	3,485,636	△ 112,364			
広告宣伝費	80,000	43,200	△ 36,800			
その他	45,000	7,500	△ 37,500			
一般管理費	236,000	990,925	754,925			
支出合計	15,940,000	15,871,423	△ 68,577			
収支	△ 1,541,000	△ 843,803	697,197			

総合コメント

広間及び次の間の利用率については40.3%で、前年度（36.8%）に比べ上昇しました。また、今年度の来館者数も14,117人で、前年度13,377人から740人増加しました。今年度は、利用団体数が125団体と前年度の103団体より増加したこともあり、全体的に利用者は増加しました。
経費については、ほぼ予算どおり適正に執行されました。
また、会計経理は、適切に行われており、経理関係調書や領収書等の証拠書類についても適正に整理されていました。

平成27年度 茶室 泗翠庵 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>利用団体数125団体は計画値の90団体を上回っています。 来館者数は、14,117人となり計画値13,000人を上回っています。 広間及び次の間稼働率40.3%については、前年度実績値36.8%を上回っています。 自主事業参加者数697人（平成26年度711人）は前年度実績を下回りましたが、利用団体数125団体（平成26年度103団体）については、前年度実績を上回りました。</p>	適
事業収支	収入	<p>来館者数は14,117人で、計画値13,000人を上回りました。 このうち、立礼席利用者は8,175人で前年度実績8,434人を下回ったものの、呈茶料収入は3,145,520円と計画の2,684,000円を上回りました。 また、貸館利用者は5,343人となり、平成26年度の4,172人を上回りました。 その結果、利用料金も平成26年度の945,340円から1,149,930円となり増収となりました。</p>	適
	支出	<p>支出については、消耗什器備品費において当初計画見込みを下回った事により差額が生じています。修繕料は、広間天井雨漏り修繕及び洗面所手洗い水洗取替工事により増額となっています。</p>	適

平成27年度 茶室 泗翠庵 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総 則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	建築基準法に定められた通り行われている	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	指定管理者面談	定期的に連絡調整会議を開催し、情報共有が図られている。	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面確認	仕様書通りに行われている	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	—	該当なし	—
		事故等の報告書が提出されたか	—	該当なし	—
	施設使用許可	施設の使用許可が適切に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
使用料金の徴収	使用料金が適切に徴収されているか	書面確認	条例どおり行われている	適	
備品の管理	備品等の管理が適切に行われているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適	
市有建築物定期点検	点検・保守	点検・保守は確実に実施されているか	書面確認	建築基準法に定められた通りに行われている	適
茶室警備保安業務	点検・保守	点検・保守は確実に実施されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
茶室庭園管理業務	庭園管理	業務が計画書に基づいて実施されているか	実地確認	仕様書通りに行われている	適
立礼席運営委託	運営	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適
茶室空調保守点検業務	点検・保守	点検・保守は確実に実施されているか	書面確認	仕様書通りに行われている	適

総合コメント

法令等の遵守及び指定管理者協定書等に基づく業務計画等の実施について適正に履行されていました。各種計画書、報告書等も期限までに提出されており、収納金の納入処理と呈茶券の受払いの管理方法、各種マニュアルの作成、設備機器等の保守・管理、保険の加入等についても適正に履行されていました。

平成27年度 茶室 泗翠庵 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
茶道体験教室	8回開催予定 【開催月】 4月・6月(2回)・9月 10月・11月・2月・3月	◆茶道体験教室(全8回) ①「盆点を楽しむ集い①」(4月26日) 【参加者数 26名】 ②「初心者向け」(6月7日) 【参加者数 20名】 ③「小間で濃茶を楽しもう」(6月28日) 【参加者数 22名】 ④「国際交流茶会」(9月6日) 【参加者数 17名】 ⑤「野点を楽しむ集い」(10月25日) 【参加者数 5名】 ⑥「文化の日茶会」(11月3日) 【参加者数 167名】 ⑦「盆点を楽しむ集い②」(2月7日) 【参加者数 27名】 ⑧「立礼席を楽しむ(無料呈茶)」(3月27日) 【参加者数 150名】	延べ参加者数 434名 「文化の日茶会」及び「立礼席を楽しむ(無料呈茶)」を実施した事から前年度実績(128名)より増加しました。日本の伝統文化である「茶道」を多くの人が体験できています。	適
特別講座	5回開催予定 【開催月】 7月・8月(2回)・1月 2月	◆特別講座(全5回) 「茶杓を知ろう～茶杓削り体験」(7月26日) 【参加者数 40名】 「抹茶碗づくり体験」(8月8日) 【参加者数 20名】 「組子(くみこ)づくり体験」(8月9日) 【参加者数 21名】 「琴のしらべと演奏体験」(1月31日) 【参加者数 23名】 「和菓子を知ろう～和菓子づくり体験～」(2月28日) 【参加者数 29名】	延べ参加者数 133名 前年度実績(167名)を下回りましたが、多くの人に茶室、茶道に対する理解を深めてもらうことができています。	適
特別事業 (調理技能展)	4回開催予定 【開催月】 4月・8月・10月 2月	「調理技能展(春)」(4月12日) 【参加者数 40名】 「調理技能展(夏)」(8月2日) 【参加者数 30名】 「調理技能展(秋)」(10月12日) 【参加者数 30名】 「調理技能展(冬)」(2月11日) 【参加者数 30名】	新規事業として「和食」をテーマに取り組み、応募者が多く抽選になる等、大変好評でした。	適

総合コメント

四日市茶道教授連盟と連携して、誰もが気軽にお茶を楽しめる事業を行い、日本の伝統文化である茶道の振興や普及と、茶室の利用促進に努めていました。平成27年度は、特別事業として和食をテーマにした調理技能展を開催される等、充実した事業が展開されました。
今後もより多くの市民の方に周知を図るため、積極的に広報し、泗翠庵へ来ていただけるような事業を展開していく必要があります。

平成27年度 茶室 泗翠庵 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月の連絡調整会議及び随時	十分に情報共有が行われている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書面確認	点検票・受付票等	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切に行われている（年間2件）	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切に行われている（年間3件）	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	—	修繕の実績なし	—
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	実地確認	速やかに行っている	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認	適切に報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	実地確認	適切に行われている（年間1件）	適

総合コメント

施設・設備等の点検・保守については、仕様書のとおり実施されています。点検や検査の実施状況について、異常については発見次第、報告・協議を受け、必要な修繕等を実施していました。上記業務の実施については適正であると判断します。

平成27年度 茶室 泗翠庵 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、利用料金の徴収	スムーズに予約できたか	月次報告によるアンケート結果 及び 実地調査(随時)	適正に執行された	適
		許可証は速やかに発行されたか		適正に執行された	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か		適正に執行された	適
		ホームページは見易いか		見易い(ホームページ確認)	適
	受付・応対業務	担当者の接客態度は良かったか		良いアンケート結果が多い	適
		使用者に対する指導は適切であったか		良いアンケート結果が多い	適
		業務従業者は名札を着用しているか		着用している	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	良いアンケート結果が多い	適		
維持管理業務	施設・設備の保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適	
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適	
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗用石鹸は常に補給されているか	現地確認実施	適	
		全体的(駐車場を含)に、見た目清潔に保たれているか	現地確認実施	適	
	警備業務	避難経路には障害物がないか	現地確認実施	適	
	外構・植栽管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	現地確認実施	適	
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適	
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	現地確認実施	適	
		草刈りや除草はされているか	現地確認実施	適	
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	良いアンケート結果が多い	適	
廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	現地確認実施	適		
備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認実施	適		

総合コメント

月次報告のアンケート結果では、各種講座に対し好意的な意見も多く利用者が満足されているように思われます。平成27年度は、昨年度に引き続き特別講座も茶道体験教室も参加者数が多く、講座内容が参加者の興味を引いたものと思われます。維持管理については、適切にされていると思われます。